

私の留学体験記

広島県立日影館高等学校 2年 濱田 照康 (はまだ てるやす)
留学期間 令和5年10月19日 ~ 令和5年10月21日 (3日間)
留学先 国立苗栗高級中学 (苗栗), 中華民國台湾

1日目、初めての海外で緊張しながら現地に到着しました。最初に訪れたのは「竹子湖蓬莱米原種田故事館」という資料館でした。そこには私の学校の卒業生の磯永吉先生の像と磯先生と一緒に研究を行った末永仁先生の像がありました。たくさんの展示を見て、磯先生が台湾で蓬莱米を開発された苦勞と偉大さを感じました。なぜ苦勞がわかったかという、品番に台北〇号というものがいくつもあり、蓬莱米の番号は60強だったからです。当時、磯先生は、お米を分けるために使っていた道具や品種改良に使う道具も自分で作ったそうです。その次に訪れたのは、故宮博物院でした。そこには台湾でも人気のある白菜の形の水晶と角煮の形の石がありました。多くの展示品から台湾の歴史や文化を感じました。

2日目は姉妹校苗栗高級中学を訪問しました。1学年が30人、12クラスの大規模な学校でした。学校へ着くともっと驚くことができました。それは校舎がとても大きく、学校の幅が150メートルはある4階建ての建物でした。姉妹校の生徒はみんな好奇心旺盛で無邪気でした。言葉が分からないことも沢山ありましたが、表情や身振り手振りで何とかコミュニケーションを取ることができました。うまく伝えることはできませんでしたが、姉妹校の生徒さんとたくさん話すことができました。姉妹校の方は、私たちに沢山の土産をくださいました。例えば、台湾の文旦やお菓子をくれました。柑橘類は検疫の関係で日本に持ち帰ることができないので、ホテルで食べました。八朔のように外側の皮が分厚く、果肉の周りの薄い皮が渋くなっていました。一粒一粒がとても大きくて美味しかったです。機内食を食べる時のプラスチック製のナイフとフォークを持っていると旅行で食品を切ったりする時に苦勞しないとガイドさんが教えてくれました。

3日目、向かったのは九份です。九份は階段の左右、階段に繋がる脇道全てに屋台やお店がありました。いちご飴や臭豆腐など色々なものがありました。僕はそこで家族へのお土産を少し買いました。九份の後は空港へ行き、後は帰るだけです。僕は空港で外貨をできるだけ使いきるためにパイナップルブラウニーとチョコレートを買いました。そして飛行機へ乗り飛行機の中でアニメを見ながら日本へ帰りました。数日ぶりに家族と会い、嬉しかったのを覚えています。

初めてのことばかりで最初は戸惑いましたが、3日間の台湾研修を終えて、新しいことに挑戦することの大切さを改めて感じました。これからの学校生活でも今回の経験を生かして様々なことに挑戦していこうと思います。

